

# 国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設の設計概要について

## 1. 本施設の設計に関する経緯

- ・本施設は、「国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会」で決定された保存方針に基づき、壁画の修理及び保存処理を行う仮設修理施設として整備する施設である。
- ・本施設の設計に当たっては、壁画の修復・保存に関する専門家からヒヤリングを行った結果に基づき設計作業を実施した。

## 2. 施設の概要

- ・建設予定地 奈良県高市郡明日香村大字平田538 国営飛鳥歴史公園内
- ・地域指定等 市街化調整区域、都市計画公園、風致地区、歴史的風土保存地区
- ・構造階数等 鉄骨造 平屋建て 建物高さ9.8m
- ・建物面積 約490㎡
- ・主要諸室 修理作業室、調査機器室、準備室、搬出入室、休憩室、見学通路、機械室

## 3. 設計上の特徴

### ○ 建物配置、外観

- ・本建物の位置は、既存の公園事務所の隣接地となることから、公園の景観への影響を押さえ既存建物との調和を図るため、建物の向きや屋根の形状を統一する。
- ・建物の外部仕上げは、原則として既存建物と同じものを使用することとし、屋根瓦や外壁の色調も統一する。

### ○ 修理作業諸室の室内環境

- ・安定した作業環境を確保するため、温度と湿度を一定に保つ高度な空調設備を設置する。具体的には、修理作業室、調査機器室及び準備室を高度空調エリアとし、周囲に空調された空気層を持つ二重壁による「魔法瓶構造」とする。
- ・修理作業諸室内の温度は、夏季20～26℃、冬季16～21℃とし、湿度は年間を通して45～65%とする。
- ・照明設備については、床上1mで照度750ルクスを確保するとともに、紫外線を出さずに、かつ壁画の色調が自然に見えるよう特殊な照明を採用する。
- ・非常に重い石板を移動させる必要があるため、床には段差を設けない。



国营飛鳥歴史公園  
高松塚周辺地区

公園事務所

国营飛鳥歴史公園館

仮設修理施設  
予定地



高松塚古墳